



今月号では、株式会社I.D.Works代表取締役の田丸亮氏と広報部の高橋知紗氏にお話を伺いました。

**ID** in design  
**I.D.Works**

## I.D.Works

**主要事業** 建築工事の設計・施工・飲食店運営等

**所在地**

〒753-0044 山口県山口市鰐石町 6-2 (山口本社オフィス)  
TEL : 083-929-3960  
FAX : 083-929-3970

**代表**

田丸 亮

**E-mail**

info@idworks.co.jp

**H P**

(I.D.Works) : <https://idworks.co.jp>  
(okiza) : <https://okiza.jp/>

### ●会社沿革

2014年1月 会社設立

2022年3月 「まるまつ食堂」開店

2022年4月 リノベーションコミュニティ「okiza」オープン

### ●会社概要

I.D.Worksは鰐石町に本社を構え、住宅や店舗、オフィスの設計・施工・インテリアデザインなどを手掛けています。また、徒歩圏内にある食堂・商店・オープンスペース・オフィスなどが集まるリノベーションコミュニティ「okiza」を運営しています。

当社は今期で9期目を迎えました。設立当時、社名を検討する時には新築、インテリア、不動産、ガーデニング、家具屋、カフェなど……建築に限らず様々な展開先のアイデアを書き出した構想図をつくっていました。社名は様々なものを「デザインする会社」という意味を込めて、この仮称から頭文字を取ったものです。デザインするということは建築だけでなく、空間をつくること、様々な仕組みを考えることも含みます。将来、会社の汎用性や拡張性を持たせる意味でも「I.D.Works (in design works)」としました。

当社のオフィスの特徴は、本社機能を1箇所に集中せず鰐石町から黄金町のエリアにある空き家を活用した点在型になっていることです。この拠点形態は当初から計画していた訳ではなく、設立から現在に至るまでの変遷とその時々に出会った空き家との巡り合わせにより現在の配置となりました。ご縁を頂いたどの空き家もそれぞれの時間の経過と歴史を感じる建物でした。老朽化した箇所は修繕し、古きを活かし新しいものを融合させるリノベーションオフィスを展開しました。

まず最初の本社事務所は鰐石町にある築40年以上経過した建物から始まりました。老朽化が深刻な箇所もありましたが、会社の起点となる空間づくりを意識しました。完成後はオフィス空間とリノベーションのモデルハウスとしてもお客様との打ち合わせで活用しました。



本社のはす向かいに設けた多目的スペース

2棟目の事務所は本社と交差点をはさんだ向かい側の建物が空きテナントになったことをきっかけにスタートしました。丁度、構造や法令関係の業務を担う専属の技術建築事務所の併設を構想していたタイミングでした。ここをスタッフ2名が執務できるスペースにリノベーションしました。それから3棟目は交差点のはす向かいの別宅にあった一室をテナントとしてお借りして、打ち合わせなどに使える多目的スペースをつくりました。

本社を起点に始まった点在型のオフィス計画ですが、スタッフが増え手狭になり新たな社屋の場所探しが始まりました。ある日、本社から徒歩1～2分のところにある住宅



本社内の打ち合わせスペース

これが現在のまるまつ食堂や黄金町オフィスがあるokizaになっています。



山口本社オフィス外観



## ●当社の特徴 ～ 暮らしに根付く空間提案 ～

会社を立ち上げる前から様々な事業展開を構想していましたが、本業は建築業です。新築住宅、リノベーションのほか店舗やオフィスの設計・施工・空間スタイリングも手掛けます。当社では間取りだけでなく家具やインテリア、建物内外の植栽計画までお客様が思い描く心地よい暮らしをつくる＝デザインすることができるよう、コミュニケーションを通じて実現に近づけていきます。建物を建てる際はそれ単体で完成させるのではなく、暮らしを見据えて設計・施工を進めます。社員の共通認識としてあるのは「建物や空間を取り巻く環境も豊かさにつながる要素になる」ということ。その土地にはどんな良さがあり、どんな風景が見えるかなど、地域に暮らす人とそれを取り巻く環境がお互いに調和のとれた空間から心地よさが生まれると考えています。

また、会社の敷地内でも様々なところに植物を取り入れています。庭も間取りの一部として考えて外構や庭づくりでグリーンを取り入れた提案をしています。

本業から派生させ、黄金町に今年開いたリノベーションコミュニティ okiza は人やものを繋ぐ役割を担っていた「置き座」に由来しています。本社の周辺に長く住まわれている方々にお話を伺うと、以前は商店街があり暮らしに根づく通りとして親しまれたと聞きます。置き座を外に持ち出してそれに座って近所の人とおしゃべりを楽しむなどしていたそうです。

okiza の工事にあって解体したのは、食堂横の駐車スペースにあった2階建ての建物のみです。受け継いだ土地と建物に敬意をもち、なるべく当時の形を残すようにリノベーションしました。

okiza の一番手前に建つのはまるまつ食堂で、その前身は社内で実地していた社員食堂の「ID 食堂」です。スタッフが不定期でまかないを作り、一緒に昼食をとる習慣が会社の設立当初からありました。そんななか料理人の中谷さんと縁があり、この度まちに開く社員食堂としてオープンすることができました。食堂プロジェクトは食も暮らしの一部という考えをベースに計画していきました。



まるまつ食堂外観



日替わりの旬膳定食

メニューは旬皿定食と旬膳定食の2種類で日替わりです。「心身の健康を願う食」というコンセプトのもと、素材に気を配り季節に合わせて考えています。各テーブルに置いているメニュー表は毎日手書きをしています。

料理は食堂スタッフが担当し、建築に携わっているスタッフは食堂の空間づくりやブランディングを主に担当しています。お互いに意見交換をし合う場も定期的に設けています。



まるまつ食堂の手書きメニュー

また okiza には現在、まるまつ食堂のように自社で運営しているミニ図書館「D library」があり、スタッフおすすめの本などを置いています。本社にあった図書機能を移動させている最中で、今後はアプリを使って社内で自由に借りられるよう準備を進めています。



D library

食堂の待ち時間をここで過ごしていただけるよう臨時的待合室としても開放していますし、敷地内であれば自由に持ち出しできるので、お茶をしながら読書も楽しんでいただけたら嬉しいねと社内で話しています。

ヴィンテージ家具の輸入販売・修理・レンタル、コンサルティングなどをされている「lool (ロール) 黄金町オフィス」さんや、中国茶のひとつとその楽しみ方を伝える「茶日月(ちゃにちげつ)」さんがテナントとして入居下さっていて、10月には花や器、手仕事を扱う「à tes côtés (アテコテ)」さんがオープンされる予定です。

## ●今後の展開 ～ 循環する街づくり ～

中古住宅をリノベーションして再度販売するなど、不動産活用の可能性は無限にあると思っています。リノベーションすることはひとつの空間をつくるということ。そのひとつ一つの建物・空間の連続で街ができていきます。私たちはその時々のお会いから鰯石町の交差点付近に事務所を開きましたが、「景色が変わったね」「良くなったね」と声をかけていただけると嬉しく感じます。

okiza に人やお店が集まるようになると様々な変化が生まれてくると思います。食堂を訪ねるお客様が敷地の他店や近隣のお店にも立ち寄られたり逆もまた然りで、循環の一助になれていたら良いなと思います。このような形で地域や街に関われたら嬉しいですね。10年後にはどんな景色、街並みになっているのだろうと想像するとワクワクします。

その地域に暮らす人が居心地よく感じられるような視点も大切に今後も取り組み続けていきたいと思っています。